



教育目標

校訓「正大・剛毅・優美」を胸に自己実現に向けて努力を重ねるとともに、身につけた豊かな人間力で社会に貢献する高い志を持つ人を育てる。

もちの木

令和6年5月10日発行
福島県立福島高等学校
校長 石橋 のぞみ
担当 入試広報課

○入学式

令和6年4月9日(火)に本校体育館で、入学式を挙行了しました。春の風を感じながらも、時折さす暖かい日差しの中で、真新しい制服を身に着けた新入生134名は、期待に胸を膨らませながらも、緊張した面持ちで式に臨みました。

新入生代表挨拶では、「伝統ある福島高校に入学した喜びとともに、校訓の正大・剛毅・優美の精神で、これからの3年間、学習や部活動に精一杯取り組みます。そして、地域の発展に貢献できるような心豊かな社会人になれるように努力します。」と決意を語りました。



○自立と協働を学ぶ体験活動



1年生

令和6年4月11日(木)、12日(金)の2日間で、自立と協働を学ぶ体験活動を実施しました。1日目は、校内でオリエンテーションや集団行動、校歌練習を行い、福高生としての心構えを身に付けました。コミュニケーションをとりながら、一生懸命行動し、声を出し、クラスメイトとの仲を深めました。2日目は、徒歩で八女中央大茶園と岩戸山古墳に行き、高校生に必要な体力と気力を鍛えました。好天に恵まれ、暖かな春の陽ざしの中、新しい友人達と笑顔で、会話しながら完歩することができました。

体験活動を通して、全員が高校生として自立に向けて一歩を踏み出しました。「当たり前のことをおろそかにせず、しっかりとやる」を礎に、これからも学校生活で様々な経験をしながら成長していきます。新入生の応援よろしくお祈りします。

○校外芸術鑑賞

2・3年生

4月12日(金)に、2・3年生は博多座に芸術鑑賞に行ってきました。それぞれの学年で現地集合としたため各自が公共の交通機関を利用しての移動にチャレンジしました。

今回の鑑賞した公演は「新生！熱血ブラバン少女」という題名の作品で同年代の高校生が大きな目標に向かって努力し、困難を乗り越える姿に刺激を受けました。また、精華女子高等学校吹奏楽部の出演演奏もあり、賑やかな雰囲気と心温まるストーリーが重なり、劇場ならではの感動を体験しました。

公演は、11:00から始まり、アフター公演の15:30頃までがあっという間に感じられました。途中の休憩時間には生徒たちがそれぞれで食事を取り、公演の様子を話したり、お弁当やお菓子、飲み物等を様々な売店で購入したりして楽しく過ごしました。

今年度、初めての試みとして芸術鑑賞を実施しましたが、時間を忘れるほどの熱演に生徒たちも夢中になっていました。本物の演技を素晴らしい舞台で見る貴重な機会となりました。

